

2022年「海外中国観光文化ウィーク」——実りあるイベント

「機会があれば、ぜひ中国へ旅行に行きたい、中国は本当に美しい!」「中国がこれからも世界無形文化遺産の保護・伝承や農村振興に提供してくれることを期待しています。」「古来より伝わる竹林の静寂な風景は、中国画のように美しい」「中国の高速鉄道はとても綺麗で便利だ!」2022年の「海外中国観光文化ウィーク」は無事終了し、各海外の文化センターや観光局には、海外の人々から多くの熱いメッセージが寄せられました。

今年9月から10月にかけて、文化観光部の指導の下、2022年「海外中国観光文化ウィーク」が世界各地で開催され、56の海外の中国文化センターと中国国家観光局外国駐在事務所は海外向けに特別展、ビデオ上映、セミナーや交流などのオンライン・オフラインイベントを行いました。イベントでは中国の伝統文化の保護・伝承や文化・観光が、貧困からの脱却と農村振興をバックアップしていること、そして現代中国のイノベーション発展を示すエピソードなどが紹介され、新時代の中国の特色ある社会主義建設の偉大な成果が示されました。

海外の中国文化センターと中国国家観光局外国駐在事務所は「海外中国観光文化ウィーク」の期間中、国際コミュニケーションの方法と手段を刷新し、複数のチャンネルと多くの事例を用いて中国の物語を伝え、中国の経験、知恵や案を紹介し、多くの外国人の関心を集めました。

中国国家観光局ローマ駐在事務所は、イタリア・中国文化交流発展センターなどと共同で、「マイ・チャイナ・ストーリー」というイベントを行い、武術指導者や若い詩人、有名バンド、旅行会社など、中国での生活経験のあるイタリア人10人を招き、中国での仕事、生活、旅行のストーリーをVTRで伝えま

した。VTRでは信頼され、愛され、尊敬される中国のイメージを生き生きと示しました。

「明月幾時有、把酒問青天、不知天上宮闕、今夕是何年（明月幾時よりか有る、酒を把りて青天に問ふ、知らず天上の宮闕、今夕は是れ何の年ぞ）」と、巧みな歌声でカイロの中国文化センターが企画した詩歌講演「海上の明月、赤い旅」は最高潮を迎えました。カイロの中国文化センターが出した2022年「海外中国観光文化ウィーク」の映像は、同センターのマルチメディアプラットフォームで5万回以上放送され、閲覧者数は20万人近くに達しました。

バンコク中国文化センターと中国国家観光局バンコク駐在事務所は、Facebookを主なプロモーションの場とし、四川省の「泰愛四川 ka（タイは四川省が大好き）」プロジェクトと組み合わせ、「都市建設」、「農村振興」、「無形文化遺産で貧困削減」、「黄河文化」、「シルクロード文化観光」をテーマとしたオンラインデジタル資源のプロモーションを行いました。「無形文化遺産で貧困削減」、「黄河文化」、「シルクロード文化観光」をテーマに、累計30万人以上の視聴者に到達し、43,000人のアクセスとリプライがありました。

ベルリン中国文化センターは、「幸福をもたらした農村振興」というテーマで文化サロンを開催し、農村振興に焦点を当てVTRや講義等で伝えました。文化サロンでは「緑の山河は金山銀山」の理念や、近年中国が全面的に実施している農村振興戦略、持続可能な農村観光の実践活動等をドイツの人々に紹介し、中国の実践案を共有しました。

シンガポールの中国文化センターと中国国家観光局駐在シンガポール事務所が共同で開催した「中国の農村振興と都市建設を語る」という共同セッションに参加したシンガポール人は、貧困脱却における中国の大きな成果への理解を深め、コロナ後の両国文化交流と観光往来が今後強化することへの期待を示

しました。

次々に行われた今回のオンラインとオフラインの文化・観光イベントは、全ての方面において信頼され、愛され、尊敬される中国のイメージを示し、海外で熱い反響を呼びました。参加した人々は、いつか中国を訪れて、その長い歴史と素晴らしい文化を体験し、雄大な山々や多様な風情をみてみたいと言っています。